

第 23 回運営評議会議事概要

1. 日時 平成 26 年 9 月 9 日（火）13：00～15：00
2. 場所 東京グランドホテル 3 階「蘭」
3. 出席者
委員 松倉委員、芳賀委員、青木委員、内藤委員、赤松委員、坂本委員、
石山委員、大西委員、岡山委員、小竹委員、十菱委員、町田委員、
村上委員、柚木委員、吉田委員
主務省 平形経営政策課長
事務局 中園理事長、小山理事、勝又理事、田辺監事、伊藤監事、
下條企画調整室長、廣田総務部長、山田業務部長、小林資金部長、
廣田審理役、水上数理・情報技術役
4. 議題
 - 1 農業者年金事業の実施状況について
 - 2 加入推進の取組状況について
 - 3 年金資産の運用状況等について
 - 4 平成 25 年度業務実績及び評価について
 - 5 その他
5. 議事概要
 - 資料 1 から資料 4 について、（独）農業者年金基金から説明を行った。
 - その後、意見交換が行われ、加入推進の取り組み等について各委員から発言があった。

<主な意見等>

[加入推進関係]

- ・加入推進にあたりラジオ、テレビ等の媒体を使い P R して、実績を上げているところもある。
- ・今まで加入しなかったという質問に対し、保険料の負担が大きかったとのことだが、農家の所得が少しでも上がるような政策をとっていただき、余裕が生まれてくれればおのずと制度加入すると思う。
- ・加入推進に関し、それぞれの県で温度差があるが、女性農業委員さんと J A の女性担当者の方々の女性に視点を置くとともに、これまでの良い取組み例を参考にして進めて行ってほしい。
- ・加入推進に関し、J A さんの取り組みが大きな鍵となっている。J A 共済も農業者年金も農家の本当に大きな柱になるもの。農業者年金の加入に対して頑張ってくれた J A 職員さんに対し、通常のノルマに農業者年金分も上乘せしてあげると励みになるのではないかと思う。
- ・加入推進に関する研修は、実際に加入推進に当たられている優れた実績、成績を上げている

方々の意見が非常に効果的であり、これからも引き続きお願いしたい。

- ・運用実績、業務実績の評価等、非常に高い数字で評価をいただいているということについては、現場で加入推進する立場からも非常に心強い。
- ・若い世代の就農を補完、フォローする政策も充実してきており、保険料負担についてこれらをうまく活用しながら推進して行こうと思っている。

[資金運用関係]

- ・年金積立管理（GPIF）関係で株式の運用も増やすという話があるようだが、農業者年金にはそういう指示、動きはあるのか。

(基金)

- ・法律に安全で効率的に運用すると書いてあり、やはり法律に基づいて安全で効率的にやっていきたいと思っています。専門家の方においでいただき、勉強を進めております。

[その他]

- ・旦那さんが亡くなった場合、奥さんには死亡一時金が支給されるが、旦那さんに支給されていた額を年金として給付するか、どちらかの選択できるような制度があっても良いのではと考えている。

(基金)

- ・現在の法律制度の下では、自分の名前で掛けて自分の名前で年金をもらう仕組みになっており、今の仕組みの中では、実現するのは難しいとしか申し上げられない。確かにそういうお考え、ご意見があることも事実であり、実現できるかどうかも含めて、ご相談していく必要があると思っています。

以上